

地域に必要とされる図書館を創る

～市町村図書館活性化実践セミナー特別講義～

まちの図書館は、どれだけの人が利用しているでしょうか？利用者の分析をするとよくそのまちの2～3割程度の人と言われていました。しかし、いま、まちの図書館の役割は大きく変わってきています。本の貸出だけでなく、みんなが情報を持ち寄り集い、すべての人の暮らしに役立つ図書館、みんなで創る図書館が求められています。

今セミナーでは、道内で、従来の図書館から新しいスタイルの図書館を実践している5人の講師をお招きして、その取り組みの秘密を学び、さらに、それぞれのまちの合った図書館計画を創ります。なにかあったら図書館へ、まちの暮らしを支え、みんなが集う図書館を一緒に考え、創っていきませんか。

11月15・16日に開催される同セミナー、1日目の11月15日の講義のみの受講者を募集します。道内の図書館等で、それぞれ新しい図書館に取り組んでいる5名の方の貴重な話を聴く機会です。1日だけでも参加して、ぜひ、明日からでも、まちに役立つ図書館を考えてみましょう。

日程 令和4年11月15日(火)

募集定員 25名 参加費 無料

募集対象 図書館に関心のある方

会場 市立小樽図書館

事例研究「キーワードは連携・
図書館員全員でまちづくり」
滝川市立図書館長深村清美さん

市役所の2階への移転がそのはじまりだった。行政・学校・病院はもちろん、さらに商店街にも出かけて・・・
図書館員全員で創る図書館のまちづくり報告です。



事例研究「札幌市図書・情報館の創り方」
図書館の常識を超えた市民のための図書館
札幌市中央図書館

利用サービス課長浅野隆夫さん
市民のニーズに応えるジャンル別の配架、
本は貸出さない、次々と大胆なアイデアの
新しい図書館の発想の源をたどります。



講義「行政からみた図書館の創り方」～専門職の力を活用する～

今金町副町長 中島光弘氏
町の読書活動には、専門職の司書が必要、司書が町の読書計画を立案、行政マンとして町全体を考えながら、町民みんな創っていく。そのプロセスを学びます。



事例研究「市民が持ち寄るまちライブラリー」
コミュニティが基本・新しい図書館スタイル
まちライブラリー@ちとせ マネージャー古谷綾さん

いったんは閉館。しかし、高校生・大学生を中心の署名活動が行政を動かした。誰でも参加、誰でも行動できる市民と創るまち新しいライブラリーの魅力を聴きます。



講義「「図書館計画の創り方・市立小樽図書館の実践」
市民参加による図書館運営

市立小樽図書館長 鈴木浩一さん
なぜ図書館計画は必要か、どう創るのか。小樽図書館の実践例から、暮らしに役立つ図書館づくりを考えます。



主催 市立小樽図書館 共催 後志図書館等協議会/北海道高等学校文化連盟図書専門部後志支部
石狩市民図書館

後援 北海道図書館協議会

お問い合わせ先 市立小樽図書館 鈴木まで 電話 0134-22-7726

*申込方法・詳細の日程は、裏をご覧ください

セミナー特別講義 詳細

11月15日(火)

日程	内容	講師
10時～	受付	
10時30分	開会	
10時35分 ～11時35分	事例研究1「札幌市図書情報館の創り方」 ～図書館の常識を超える市民のための図書館～	札幌市中央図書館利用サービス課 浅野隆夫氏
11時35分 ～12時50分	講義1「図書館計画の創り方・市立小樽図書館の実践」～市民参加を目指して～	市立小樽図書館長 鈴木浩一氏
13時40分 ～14時40分	事例研究2「キーワードは連携・図書館員全員でまちづくり」～	滝川市立図書館長 深村晴美氏
14時40分 ～15時40分	講義2「行政からみた図書館の創り方」 ～専門職の力を活用する～	今金町副町長 中島光弘氏
15時40分 ～16時40分	事例研究3「市民が持ち寄るまちライブラリー」 ～新しい図書館スタイル～	まちライブラリー@ちとせ マネージャー古谷綾氏
16時50分 ～17時20分	見学「小樽図書館大解剖」～施設から見る図書館スタイル～	市立小樽図書館長 鈴木浩一氏

特別プログラムがあります。魅力的な資料展示を学びます

- 11月18日(金) 高文連図書専門部後志支部との共催により、研修会に参加する。
北海道高等学校文化連盟図書専門部後志支部研修会
 - 1 テーマ 人の集まる「資料展示」を企画する
 - 2 会場 市立小樽図書館
 - 3 募集定員 5名(自由参加・事前申し込み)
 - 4 研修内容(時間等は予定)
 - 10時30分～12時 人が集まる資料展示
市立小樽図書館 鈴木浩一
 - 13時～15時30分 グループによる展示企画実習
高校生に混じって図書館員グループで企画